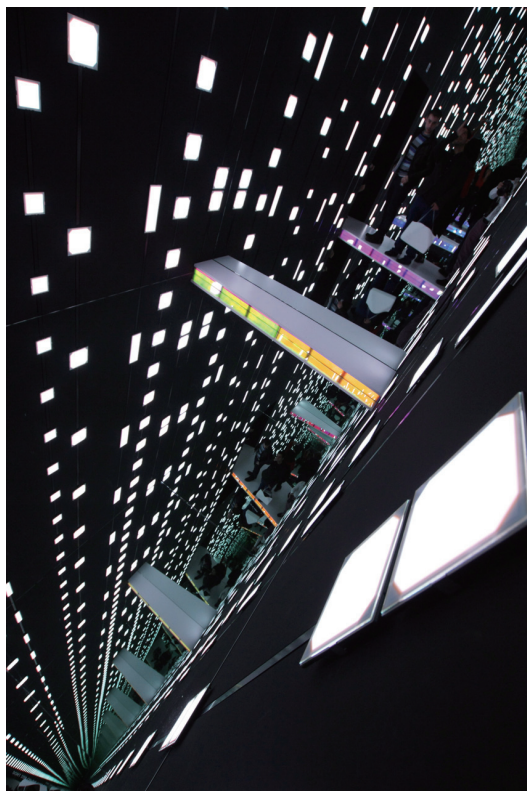


ミラノそしてフランクフルトで、Lumiotech の有機 EL 照明が大好評



写真上：Milano Salone Line Light Fall

Lumiotech は今後、このミラノ、フランクフルトの実績を踏まえ、国内はもとより、海外企業との協業をすすめ、有機 EL 照明パネルの拡販を強力に進めていく。

Lumiotech は、三菱重工業、ローム、凸版印刷、三井物産などが出資して2008年5月に発足した世界初の照明用有機 EL パネルの専業会社。これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リニア蒸発源式インライン成膜装置の実現などを受け、米沢市に量産ラインを構築し、2011年1月から世界に先駆けて照明用有機 EL パネルの量産出荷を行っている。2011年9月から発売している照明器具「HANGER」で2012年レッドドット・デザイン賞を受賞している。

有機 EL パネルは、面発光で極薄・軽量であることや、紫外線を含まず均一でムラのない柔らかい光を実現できること、さらには、水銀など有害物を含まず、省エネ化による CO2 の削減効果が見込めるなど、白熱球、蛍光灯などの従来型光源や LED にはない優れた特徴を持ち、次世代の照明用光源として期待されている。

Lumiotech (ルミオテック) 株式会社 (社長:重永久夫、本社:山形県米沢市) は、4月17～22日にイタリア・ミラノで開催されている世界最大規模の国際家具見本市、ミラノ・サローネ (Salone Internazionale del Mobile) に昨年に引き続き、出品・展示している。

特に本年は、選りすぐれたデザインだけが展示を許されるスーパースタジオ (SUPER STUDIO PIU) で、昨年の出展内容と、今年の計画が高く評価されての出展となった。レッドドット・デザイン賞を Lumiotech と共に受賞した、三井直彦氏 (Triumph Design and Consulting Co.,Ltd.) のデザインで、300枚の有機 EL パネルを使ったデザインウォリティーの高い空間を演出している。ブース内の照明は全て有機 EL を使用している画期的な展示になっており、主催者側の評価も高く、現地のマスコミや、世界のデザイン誌の取材に追われている。

また、スーパースタジオ内のベースメント展示会場には、Alessandro Marelli 氏 (<http://www.alessandromarelli.it/>) のデザインによる有機 EL 照明も展示されている。

Lumiotech の有機 EL 照明はまた、ドイツ・フランクフルトで開催されている世界最大規模の照明と建築の展示会 (light + building) (4月15～20日) においても、複数の欧州照明メーカーから採用されている。

オーストリアのトライドニック社 (Tridonic) は、OLEDmodule LUREON REM シリーズで採用 (<http://www.tridonic.com/com/en/9037.asp>)、イタリアのリネアライト社 (Linea light) は、デスク型とアウトドア型の2種類の照明器具を展示。その他にも複数社で Lumiotech の照明パネルを使った照明器具が展示されている。



写真下：Milano Salone Booth

【問合せ先】

Lumiotech株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotech_info@lumiotech.com

以上